

# 令和3年度大分県学力定着状況調査結果分析と改善方策について

宇佐市教育委員会

## 小学校 国語

### (1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	51.0	52.2
大分県	51.3	52.1

正答率	知識	活用
目標値	69.7	56.3
宇佐市	74.7	64.4
大分県	75.3	64.2

### (2) 観点別・領域別正答率

	観点			領域					
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報扱い方 に関する事 項	我が国の言 語文化に関 する事項	話すこと・聞 くこと	書くこと	読むこと
目標値	65.7	61.7	56.0	68.5	53.3	75.0	57.0	58.8	67.5
宇佐市	72.1	66.8	66.4	76.7	54.3	79.9	58.9	73.0	69.3
大分県	72.2	67.1	66.0	76.7	53.8	82.5	60.6	71.2	69.9
偏差値	51.2	51.8	53.1	51.6	50.9	48.0	50.0	53.9	50.0

### (3) 結果のポイント

- 教科全体・知識・活用において偏差値50を上回っている。正答率・偏差値において活用は県を上回っている。
- 観点別・領域別正答率では、観点別「知識・技能」「思考・判断・表現」、領域別「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」「読むこと」について、県平均を下回っている。
- 「漢字を読む」「言葉の学習」「文章を書く」については、概ね目標値を上回っている。

### (4) 授業の改善のポイント

#### 【話すこと・聞くこと】

○話の内容が明確になるようにするためには、事実と感想、意見を区別したり、詳しい説明を加えたりすることが必要であることを理解させる。

→「分かったこと」と「自分の考え」を区別するためには、接続語や文末表現に気を付けて話すことが大切である。

〈理由を述べるとき〉

- なぜなら～。
- その理由は～。
- ～ためである。

〈例を挙げるとき〉

- 例えば～。
- 例をあげると～。
- ～などがそれに当たる。

#### 【読むこと】

○事実と感想、意見などとの関係を叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること(情報の整理)との関連を図り指導の効果を高める。

→段落のまとまりを理解して文章の内容を的確に読み取ることができるための手立てが必要である。

○文章構成について確かめ、それぞれのまとまりや段落がどのような役割を果たしているか考えるような学習を仕組む。

(例)筆者は自分の考えをわかりやすく伝えるためにどのような説明の工夫をしているのだろうか。

- 段落の関係を考えさせる。(問いと答え、対比、事例、筆者の考え、まとめ等)
- 段落構成図をつくる
- 段落に小見出しをつける

○書くことにおける学習との関連付けを図る。

- 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成させる。

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	51.6	50.8
大分県	52.1	51.7

正答率	知識	活用
目標値	70.5	55.0
宇佐市	74.1	57.8
大分県	75.3	60.4

(2) 観点別・領域別正答率

	観 点			領 域			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
目標値	68.4	53.6	51.4	67.2	70.0	60.8	46.3
宇佐市	72.5	54.1	56.3	69.8	73.1	64.0	52.9
大分県	73.9	56.6	58.8	72.2	73.6	65.6	55.6
偏差値	51.6	50.3	51.3	51.1	51.1	50.8	51.4

(3) 結果のポイント

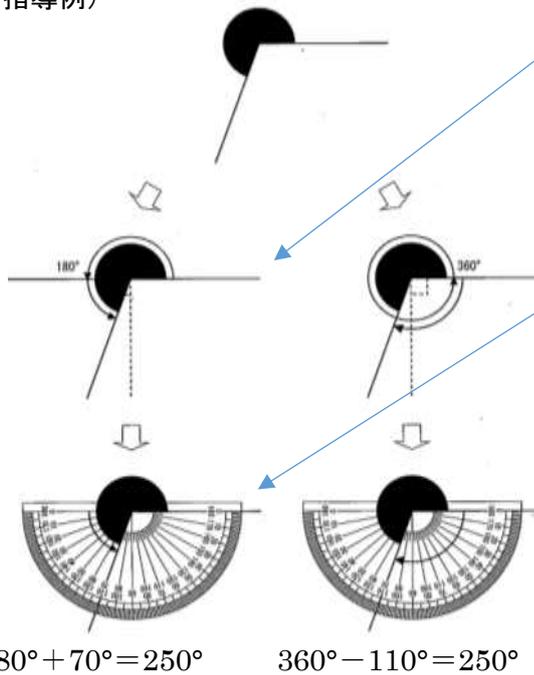
- 偏差値50は上回っているが、すべて県平均を下回っている。
- 観点別、領域別においてもすべて県平均を下回っているが、目標値はすべて上回っている。

(4) 授業の改善のポイント

★180°より大きい角の大きさを求める問題にかかわって・・

- 角とは、一つの頂点から出る二本の辺が作る形であり、頂点を中心にして一本の辺を回転させたときの回転の大きさが、角の大きさであることを理解できるようにすることが大切である。
- 180°よりも大きい角の大きさを測定するには、180°を超えた部分の角の大きさや360°に足りない部分の角の大きさについて測定することができるようにする。

(指導例)



- ① 角の大きさの見当を付ける。  
 ◆1直角をもとに見当をつけることができるようにする  
 1直角・90° 2直角・180° 3直角・270° 4直角・360°  
 「測定する角は、何度以上、何度以下になりそう」  
 「○直角よりも大きい」  
 「○直角よりも小さい」
- ② 見当を付けた結果に合わせて分度器の目盛りを読む。
- ③ 見当を付けた角の大きさと測定した角の大きさを振り返って確かめる。  
 ◆求め方を説明するときに、「180° と超えた部分の70° を加えて足すと、180° + 70° = 250° となる。」というときに、図と式を対応させて説明をするようにする。  
 +70° は図のどの角か  
 -110° は図のどの角か

(H30 全国学力・学習状況調査報告書)より

★1000円札のおよその面積を求める問題にかかわって・・

- 面積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の面積の求め方を理解できるように指導する。
- (指導例) ◆具体物を用いて、量の大きさの感覚を豊かにする。

- 身の回りのものの面積の大きさを考える際、縦や横の長さ(辺の長さ)の見当を付け、およその面積を求める活動を取り入れる。

(過去の問題例)

- 切手、はがき、教科書、黒板等・・・問題解決学習の過程での予測等も含めて体験的に学ぶ工夫をする。
- ◆様々な量の学習場面を通じた指導を充実する。
- 重さ、広さ、長さ、かさ等、意図的に日常の具体物と繋げることが大切。

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	50.8	49.7
大分県	51.4	50.5

正答率	知識	活用
目標値	68.8	54.5
宇佐市	68.1	52.5
大分県	69.3	54.5

(2) 観点別・領域別正答率

	観 点			領 域	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り 組む態度	物質・エネルギー	生命・地球
目標値	71.6	56.3	57.0	56.3	71.6
宇佐市	70.9	54.6	54.1	55.0	70.6
大分県	72.4	56.0	58.3	55.0	73.5
偏差値	<b>50.6</b>	<b>50.3</b>	<b>49.4</b>	<b>50.7</b>	<b>50.0</b>

(3) 結果のポイント

- 偏差値50は、「教科全体」「知識」は上回っているが、「活用」は下回っている。  
正答率は、「教科全体」「知識」「活用」において県平均を下回っている。
- 観点別、領域別においては、「物質・エネルギー」を除いて、すべて県平均を下回っている。

(4) 授業の改善のポイント

☆動植物の成長の様子や月と星の観察の問題にかかわって・・・

- 四季の動物(植物)の様子の移り変わり、月や星の観察や体験的学習活動の工夫をする。  
◆実際の観察ができない場合→ICT、図書教材等を活用し、継続的な観察をおこなう。  
児童が興味をもって主体的に学習する手立てを講じる

- 問題解決の学習活動を充実させる。  
特に予想や仮説の設定、検証計画の立案の場面の指導を充実させる。

(指導例)

- 水の状態変化と温度の変化とを関連付けて調べる活動を通して、**生活経験を基に根拠ある予想や仮説を表現する指導を行う。**

→生活経験と結びつけたり、実際に体験して実感したりする工夫が必要。

〈学習指導要領解説理科編より〉

- 児童が見出した問題に対して、予想や仮説をもたせる。  
「なぜ、そのように予想したのか発表しよう。」「自分の経験から、予想してみよう。」
- 予想どおりであれば、結果はどうなるかを考えさせ、表現させる。  
「この実験方法でどのような結果がでたら、どんなことがいえるかな。」
- ICTを活用して実験の様子を繰り返し確認する。視点を明確にし、考察する際の手がかりとさせる。  
◆タブレットで実験の様子を写真や動画で撮影する。WEB教材を活用する。

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	51.8	51.1
大分県	51.8	51.1

正答率	知識	活用
目標値	69.5	56.5
宇佐市	78.2	63.2
大分県	78.3	63.4

(2) 観点別・領域別正答率

	観点					領域			
	国語への 関心・意 欲・態度	話す・聞く 能力	書く能力	読む能力	言語につ いての知 識・理解・ 技能	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言 語文化と国 語の特質に 関する事項
目標値	63.3	77.5	52.1	56.8	73.0	77.5	51.3	60.0	73.8
宇佐市	72.6	85.1	60.7	61.2	82.3	85.1	59.7	65.6	83.0
大分県	71.8	84.0	61.2	61.4	82.9	84.0	60.4	65.2	83.5
偏差値	51.9	51.5	51.2	50.5	51.7	51.5	51.1	50.8	51.6

(3) 結果のポイント

- 知識、活用ともに偏差値50は超えている。
- 観点別・領域別で、「関心・意欲・態度」「話す・聞く」では、県を上回っているが、「書く」「言語」で下回っている。

(4) 授業の改善のポイント

【読むこと】

- 根拠となる描写を明らかにして、文章を解釈する。
  - ◆文学的な文章を読むときは、目的に応じて場面の展開や登場人物の描写に注意して読むように指導する。
    - 文章全体から登場人物の言動が分かる描写を見付け、それらを場面の展開に即して整理し、登場人物の相互関係についてまとめるとともに、登場人物の相互関係からそれぞれの人物像や内面にある深い心情を捉える学習活動を設定する。
      - 複数の場面や描写を結び付けて文章を解釈し、他の人との解釈と比較する活動も有効

【書くこと】

- 言語活動を通じた学習において、文章を書く目的や意図を意識し、読み手に分かりやすく書く活動を設定する。
  - ◆目的や意図に応じて相手に分かりやすく書く指導の工夫
    - 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように書く力を身に付けるために、分かりやすい説明や具体例を加えたり、表現しようとする内容に最もふさわしい語句を選んで描写を工夫したりするように指導する必要がある。
- (指導例)
  - ポスター、パンフレット、手紙、新聞等の多様な形式の中から、目的や効果を考慮して選択した上で、読み手に分かりやすく伝えるための記述や構成の工夫について考える学習活動を仕組む。
  - 係からの報告や記録の文章に不足している情報や付け加えた方がよい情報について検討し、実際に説明や具体例を書き加える学習活動の設定。

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	51.5	51.5
大分県	51.3	50.3

正答率	知識	活用
目標値	57.5	50.5
宇佐市	63.8	57.8
大分県	63.3	55.1

(2) 観点別・領域別正答率

	観点				領域					
	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用 の技能	社会的事象についての知識・理解	世界の 地域構成	世界各地 の人々の 生活と環 境	世界の 諸地域	古代まで の日本	中世の 日本	日本の 地域構成
目標値	50.5	51.9	53.8	56.4	51.7	65.0	50.0	65.5	38.8	48.8
宇佐市	57.8	57.9	59.5	63.7	59.7	76.8	53.9	72.0	40.1	60.1
大分県	55.1	56.0	58.3	62.5	53.5	73.9	53.2	72.1	40.1	58.3
偏差値	51.5	51.0	51.3	51.8	52.7	51.6	50.1	50.9	50.7	52.3

(3) 結果のポイント

- 知識、活用ともに偏差値50を超えており、県を上回っている。
- 観点・領域において、全て目標値を上回り、「古代までの日本」以外は県の正答率を上回り、概ね良好である。特に「世界の地域構成」は大きく上回っている。

(4) 授業の改善のポイント

- 資料を活用できない場合、どの段階でつまづいているのかを把握し、支援・指導していく。
  - ①複数の資料から条件に合致した情報を取り出す段階
  - ②取り出した情報を比較したり、傾向を抽出したりする段階
  - ③比較したり、抽出したりした結果等を関連付けて、条件に沿って記述する段階
- 複数の資料から情報を取り出し、関連付けて社会の中にある問題を見つけたり、その解決に向けて考えたりする場面を設定する。
- グループ等による学習を通して、自分とは異なる視点から取り出した情報を得たり、そこから広がった考えを記述したりする場面を設定する。
- 歴史上の出来事や人物についての知識だけでなく、時代背景や前後の出来事、その時代における外国の様子や動きも含め、広く関連付けて学びを深めるような工夫、手立てを授業の中で講じる。

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	51.5	49.1
大分県	51.4	50.6

正答率	知識	活用
目標値	65.5	45.6
宇佐市	70.2	41.4
大分県	70.0	44.7

(2) 観点別・領域別正答率

	観 点				領 域			
	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	数と式	図形	関数	資料の活用
目標値	51.1	48.8	67.0	57.9	62.9	67.5	54.0	49.2
宇佐市	49.8	47.9	73.0	59.0	67.0	72.9	52.5	46.6
大分県	51.9	50.3	71.5	60.7	66.1	70.9	55.4	52.3
偏差値	49.5	49.6	52.1	50.4	51.6	51.3	50.1	48.9

(3) 結果のポイント

- 偏差値については、「知識」は県と差がないが、「活用」は県をやや下回っている。
- 観点別については、「技能」は県を上回っているが、「関心・意欲・態度」「見方・考え方」「知識・理解」は下回っている。
- 領域別では、「数と式」「図形」は県を上回っているが、「関数」「資料の活用」は下回っている。特に「資料の活用」に課題が見られる。

(4) 授業の改善のポイント

○「方程式の解」、「累積度数」、「中央値」など数学用語の理解については、演習や活用などの学習終了後の振り返りなどで、再度意味を問うなどして理解を深める場面の設定が必要である。また、単に言葉を覚えるだけでなく、その意味や必要性を実感できる問題や学習活動を取り入れていくことが大切である。

○文字式の利用

事柄が成り立つ理由を事象に即して説明できるようにするために、事柄の意味を読み取り、読み取った意味に基づいて、説明する事柄(B)とその根拠(A)を明確に区別し、「(A)であるから、(B)である」のように的確に表現できるようにすることが大切である。

⇒『(A)1つの囲みにタイルが4枚ある。その囲みが(n-1)個ある』ので、『(B)この囲みで数えたタイルの枚数は4(n-1)枚』になる。

平成25年度 全国学力・学習状況調査 授業アイデア例(基石の個数をいろいろ工夫して求めよう)

○資料のちらばりと代表値

①データの傾向を読み取り、それを説明する際に、ヒストグラムの形状や複数の階級の度数の大小関係に着目して、それらを基に説明できるようにすることが大切である。また、分布について生徒に説明させる際にどのようなところに着目(データが集まっているところなど)しているかを問い返すなどして、説明を洗練させていくことが大切である。

②代表値の意味を理解するだけでなく、目的に応じてデータの傾向やその特徴を伝えるための根拠としてどの代表値を用いるべきか判断する活動を取り入れることが大切である。

(令和元年度 全国学力・学習状況調査 授業アイデア例(読書時間の傾向を捉えて説明しよう))

○日頃の授業の中で、『説明の基本形』を利用して説明させるなどして、論理的な説明の組み立てに慣れさせましょう。

○全国の調査問題を授業づくりの題材を選ぶ際に参考にしていきましょう。

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	52.9	51.7
大分県	51.2	50.6

正答率	知識	活用
目標値	55.2	49.5
宇佐市	58.9	58.6
大分県	55.3	55.9

(2) 観点別・領域別正答率

	観 点				領 域			
	自然事象への 関心・意欲・態 度	科学的な思 考・表現	観察・実験 の技能	自然事象につ いての知識・ 理解	エネルギー	粒子	生命	地球
目標値	55.8	52.1	51.8	57.6	49.4	55.0	58.3	49.2
宇佐市	64.3	58.0	52.2	63.6	51.7	56.6	68.4	57.6
大分県	61.4	55.7	50.5	57.7	50.4	53.6	62.0	55.7
偏差値	51.6	51.6	51.8	54.0	51.0	52.3	53.7	51.6

(3) 結果のポイント

- 知識、活用ともに偏差値50を超えており、正答率においても県を上回っている。
- 観点、領域別において、すべての項目で県を上回っている。
- 問題別では、「植物の分類」「動物の分類」「身のまわりの物質とその性質」「物質の状態変化」「光の性質」「火山」がよくできている。

(4) 授業の改善のポイント

大分県全体でつまずきが見られた問題

○メスシリンダーの目盛りを読み取り、密度を求めることができる。(正答率 41.6% 県 36.1% 目標値 40.0%)

問題 実験(略) 物体 B を完全に水にしずめたところ、液面の様子は図3(メスシリンダーの図)のようになった。

体積は何 $\text{cm}^3$ だと考えられるか。また、結果から密度はおよそ何 $\text{g}/\text{cm}^3$ だと考えられるか。

⇒宇佐市は、県の正答率と目標値をともに上回っているが、無解答率が全問題中最も高い(無解答率22.3%、県無解答率 23.7%)

- 密度の求め方、小数の割り算(小学校)の理解が十分でない。
- メスシリンダーによる体積の求め方、目盛りの読み方等の理解が十分でない。

○科学的に探求する学習活動を充実させ、探求の過程を通して、資質・能力を育成することが大切である。

○探求のために必要な観察・実験等の基本的な技能(測定方法、データの処理等)を確実に身に付けさせる指導の充実。

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	50.3	49.8
大分県	50.5	50.2

正答率	知識	活用
目標値	61.0	49.2
宇佐市	62.2	45.3
大分県	62.6	46.5

(2) 観点別・領域別正答率

	観 点				領 域		
	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化について の知識・理解	聞くこと	読むこと	書くこと
目標値	57.9	41.5	62.4	58.8	71.7	56.8	43.0
宇佐市	57.7	39.3	61.4	59.8	72.4	55.1	42.7
大分県	58.5	40.7	61.5	60.4	72.3	56.1	43.7
偏差値	50.1	50.0	50.1	50.3	50.4	49.8	50.2

(3) 結果のポイント

- 偏差値は教科総合、知識は50を上回っているが活用は下回っている。正答率・偏差値ともに県を下回っている。
- 観点別はすべて県を下回っている。領域は「聞くこと」において県を上回っているが、「読むこと」「書くこと」で県を下回っている

(4) 授業の改善のポイント

★言語活動の充実

- 2技能以上を関連付けてコミュニケーションを図ることが必然となる技能統合型の言語活動を設定する。
- 情報を伝える・受け取る必然性や目的を明確にし、伝え合う際の相手意識を持たせる。
- 生徒が興味・関心を持ち、付けたい力を付ける【ねらいを達成する】活動にする。

- 例文等を用いて「型」をもとに学習を進めるのではなく、様々なやりとりを実際に行う場面を設定し、いろいろなやりとりの仕方(答え方)があることを学ばせる事が重要である。実際に授業の中で、ペアワーク等を行い、示された例文をもとにしながら、自分で、または、友だちと協働しながらやりとりを考え、全体に広げるなどの工夫が必要である。
- 基本的な語彙や場面に応じた応答の仕方については、教師と生徒、生徒同士のやり取り等を日常化し、指導の際に、目的や場面、状況を設定した言語活動の中で、様々なやり取りを通して、答え方にはいろいろあることを学ばせる。また、やり取りの後には、自分の表現した内容を書かせる。
- 読んだ内容について、自分の考えや得た情報を自分の言葉で述べたり、書いたりするなどの活動を位置づける。

【技能別の具体的な取組】 大分県教育委員会～中学校英語科授業改善パンフレット～より

(読む力)

- ◆パラグラフの要点や概要を把握する力をつけるために・・・
  - 話の流れを大まかに把握するためには、各段落のトピック・センテンスを探すことが大事です。パラグラフの中で核となる1文を選ばせることで、それ以外のサポーターティング・センテンス(トピックについて詳しく説明する文章)と区別して、パラグラフに対する認識を高める必要があります。
- パラグラフの要点に気づき、英語で相手に伝える活動
  - 1、トピック・センテンスに下線を引く。
  - 2、キーワードを抜き出す。
  - 3、生徒は、抜き出したキーワードを見て、英語で話す。

【小学校】

◎全国を5ポイント以上上回る項目 ※数値は肯定値%(良好な回答の合計)

番号	質問	宇佐市	全国
1	学校での日々の授業や活動の中で、自分は人間として成長したな、少し大人になれたなど、感じるがありますか。	76.7	71.0
2	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	89.4	78.6
3	あなたは、友だちの表情などから今の心を思いやり、自分だったらどうしてほしいか、それをよく考えてから行動する方ですか。	82.1	76.4
4	クラスや友だちの間で、話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言する方ですか。	65.6	55.4
5	クラスの多くの人や仲のいい友だちと意見がちがっても、自分が正しいと思ったことは、それを主張することができますか。	67.7	59.2
6	あなたは、学校生活の中で何回ぐらい、自分の意見を発表したり、先生の質問に答えたりしていますか。	60.1	48.3
7	友だちとけんかをしてしまったあと、仲直りするために、自分から行動する方ですか。	84.0	78.6
8	クラスの話し合いや友だちとの間で意見が合わなかったとき、みんなが納得できる方法を考えて、提案する方ですか。	56.4	50.7
9	小さい子や、お年寄りがこまっているとき、まよわず手助けしていますか。	78.3	71.5
10	お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加していますか。	77.4	72.4
11	1日の勉強時間はこれくらいと、めやすを決めていますか。	56.4	51.2
12	テストでまちがえた問題は、あとでやり直していますか。	84.9	78.1
13	ノートの取り方について、自分なりの工夫をしていますか。	78.1	72.0
14	4年生までに受けた授業の最後に学習内容のまとめやふり返りをよく行っていたと思いますか。	86.8	76.2
15	4年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて調べたり、話し合ったりしながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか。	80.7	75.1

▲全国を5ポイント以上下回る項目

番号	質問	宇佐市	全国
1	クラスや部活で、無視されたり、かげで悪口を言われたり、物をかくす・よごすなどの、いやがらせを受けたりすることがありますか。(ないという子ども)	81.1	87.4
2	自分がいつ、いじめのターゲットになってしまうか、不安を感じるがありますか。(感じることはないという子ども)	71.5	78.8
3	いじめを見たり聞いたりして心を痛めることがありますか。(いじめはない・知らないという子ども)	63.4	78.6
4	仲間はずれになるのがこわくて、本当は気がすまないのに、友だちの意見に合わせたり、いっしょに行動したりすることがありますか。(ないという子ども)	70.8	76.0
5	信じていた友だちから、思いもよらぬ言葉を聞かされたり、つらい態度をとられたりして、傷ついたことがありますか。(傷ついたことがないという子ども)	50.2	58.9
6	朝は自分で起きていますか。	57.3	63.7
7	自分のことが好きである。	50.9	62.0
8	学校に行くのは楽しい。	80.0	85.8

○全体的に「充実感と向上心」「規範意識」「思いを伝える力」「社会参画」「学習習慣」が高い。

○全国と比較して、「家族・友だち・先生のささえ」「自己認識」「社会性」が高いが、「いじめのサイン」「対人ストレス」は、やや低い傾向にある。

○「自分のことが好きである」「学校に行くのは楽しい」が低い傾向にある。昨年度も課題として挙がっており、「自己肯定感の低さ」や「友だちとのつながり」などについて、小さなサインも見逃さないようアンテナを張り、取り組むことが重要である。

子ども同士をつなぐ取組を行うとともに教職員間、保護者等との連携も必要。

▲その他の回答様式で改善が見られる項目・課題が見られる項目

1	平日1日当たりどれくらいテレビやビデオ・DVDを見たり聴いたりしますか。	3時間以上 18.6% 全国 20.0% 県 15.5% (R2…21.3% H31…29.7%)
2	土日1日当たりどれくらいテレビやビデオ・DVDを見たり聴いたりしますか。	3時間以上 33.0% 全国 31.3% 県 27.8% (R2…36.7% H31…29.7%)
3	平日1日当たりどれくらいテレビゲームをしますか。	2時間 11.1%(全国 4.5 県 10.9) R2…13.6% 2時間30分 7.1%(全国 2.0 県 5.7) R2…5.7% 3時間以上 16.0%(全国 3.0 県 12.8) R2…18.2%
4	土日1日当たりどれくらいテレビゲームをしますか。	2時間 12.7%(全国 7.8 県 13.9) R2…11.9% 2時間30分 9.0%(全国 3.5 県 8.2) R2…7.5% 3時間以上 30.2%(全国 7.5 県 25) R2…33.0%

○テレビやビデオ・DVDの視聴時間は、昨年度よりもやや改善傾向にある。ゲームについては、平日は減少しているが、土日は依然として高い傾向となっている。小中連携したメディアコントロールの取組や保護者への啓発も引き続き必要である。

## 【中学校】

◎全国を5ポイント以上上回る項目 ※数値は肯定値%(良好な回答の合計)

番号	質問	宇佐市	全国
1	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	90.4	75.6
2	小さい子や、お年寄りがこまっているときは、まよわず手助けをしていますか。	73.9	68.2
3	家で週に何日くらい勉強しますか。(肯定…ほぼ毎日+4~5日)	73.9	64.1
4	家で授業の予習や復習をしていますか。	52.7	47.1
5	テストでまちがえた問題は、あとでやり直していますか。	69.5	62.5
6	学校で学んだことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。	89.3	83.6
7	家では、勉強する場所を決めている。	83.9	76.6
8	家の人から言われなくても進んで勉強していますか。	68.5	56.4
9	1年生の時に受けた授業の最後に学習内容のまとめや振り返りをよく行っていた。	82.5	66.1

▲全国を5ポイント以上下回る項目

番号	質問	宇佐市	全国
1	本当につらいことがあったとき、それを家の人の誰かに相談できますか。(今いっしょに生活している人)	59.4	64.6
2	本当につらいことがあったとき、それを学校の先生に相談できますか。	41.0	48.6
3	クラスや部活内で冷やかされたりからかわれたり、いやなことをしつこくいわれたりすることがありますか。(ないと答えた子ども)	76.7	82.9
4	自分がいつターゲットになってしまうか、不安を感じることがありますか。(ないと答えた子ども)	77.2	83.6
5	いじめを見たり聞いたりして、心を痛めることがありますか。(いじめはない・知らないという子ども)	69.5	80
6	仲のいい友だちから自分がどう思われているか、気になることがありますか。(ないと答えた子ども)	57.1	66.1
7	クラスや友だちの話題についていくのが大変だ、自分のよく知らない話題が出てくると不安だと、感じることはありませんか。(感じることはないという子ども)	77.2	85.5
8	信じていた友だちから、思いもよらぬ言葉を聞かされたり、つらい態度をとられたりして、傷ついたことがありますか。(傷つくことはないという子ども)	55.9	66.7
9	1日の遊び時間は、だいたいこれくらいと決めていますか。(テレビ、DVD、ゲーム、インターネットをふくむ)	40.1	46.2
10	1日の勉強時間はこれくらいと、めやすを決めていますか。	40.1	46.2
11	分からない言葉が出てきたときは、辞典などを引いて調べていますか。(電子辞書をふくむ)	57.8	63.9

○「規範意識」「社会参画」「学習習慣」の肯定値が高い。

○「対人ストレス」「いじめのサイン」の肯定値がやや低く、生徒一人ひとりの様子や友だち関係について、チームとして組織的な生徒指導が重要である。

▲その他の回答様式で改善が見られる項目・課題が見られる項目

1	平日1日当たりどれくらいテレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしますか	<b>3時間以上 14.0%</b> 全国 22.9% 県 12.4% (R2…18.2% H31…16.8%)
2	土日1日当たりどれくらいテレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしますか	<b>3時間以上 32.4%</b> 全国 48.8% 県 32.3% (R2…39.5% H31…38.8%)
3	平日1日当たりどれくらいテレビゲームをしますか	2時間 17.1%(全国 5.1 県 14.8)R2…14.9% 2時間30分 8.9%(全国 1.3 県 6.6)R2…7.4% <b>3時間以上 19.8%</b> (全国 2.9 県 16.9)R2…22.3%
4	土日1日当たりどれくらいテレビゲームをしますか	2時間 11.7%(全国 10.8 県 15.0)R2…11.7% 2時間30分 10.5%(全国 3.6 県 8.5)R2…6.2% <b>3時間以上 43.8%</b> (全国 12.0 県 39.4)R2…48.5%
5	平日1日当たりどれくらい携帯・スマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか	<b>3時間以上 11.7%</b> (全国不明 県 8.8)R2…13.1%
6	土日1日当たりどれくらい携帯・スマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか	<b>3時間以上 20.5%</b> (全国不明 県 17.6)R2…22.8%

○テレビ・DVDの視聴時間は、平日、土日ともに、徐々に改善傾向が見られる。引き続きメディアコントロール等の取組が家庭に浸透していくことが望まれる。

○ゲーム3時間以上の割合が、全国に比べて、依然としてかなり高い。

○携帯・スマートフォンについては、平日・土日とも昨年度よりわずかに減少はしているが、上記ゲームについては携帯式のゲーム、スマートフォンによるものも含まれることを考えると、携帯・スマートフォンの使用について、家庭と連携しながら取り組みを進める必要がある。